

チーム氷河期®プロジェクト

~最も大きな現役世代層、子育て世代である氷河期世代内で

世代内経済循環システムという世界初の経済循環システム

を構築し、日本経済の活性化、安定的な子供教育の

下支えに繋げる、壮大な社会実験プロジェクト

2021年11月30日

チーム氷河期プロジェクト 事務局

森の音モダチ(株)Nassun.E 代表取締役 那須正和

就職氷河期世代問題について

-バブル崩壊以降の日本経済沈降の歴史は、就職氷河期世代の沈降の歴史と全く重なります。

-バブル崩壊後、氷河期世代の問題は、経済力の無さ、貧困として、他の様々な社会問題に波及しながら、長らく、放置されてきた。

-氷河期世代は、現役世代で最もボリュームの多い世代（2300万とも2600万人とも。東京の1.5~2倍近い人口）。現役世代の約30%以上。その世代の力を生かせず、むしろ、殺してしまったことが、様々な現在の社会問題の要因の一つとなっている。

-このままでは、その影響は、今後何十年と日本の将来の足を引っ張ることが見えている。

諸問題への波及 from 就職氷河期世代問題

氷河期世代は、2300万人以上と最も巨大人口

氷河期世代問題

人員整理
-コロナ
-EVシフト

7人に1人が貧困。OECD先進国中最悪レベル

低所得。貧困

少子化

国内産業、製造業の人材の質と数の不足

産業と技術革新の基盤をつくらう

将来の社会保障費増

子供の貧困

製造業の国際競争力低下

次世代の負担増

子供の教育水準低下

国内の購買力低下

国内産業、製造業の不活性化

日本の国際競争力低下

1人あたりの年金（社会保障費）額減

更なる低所得、貧困を産む

-氷河期世代の棄損が、日本の少子化問題の最大の要因であり、それが、日本経済の沈降の大きな要因の1つでもある。

-今その氷河期世代の最初の世代は、50代に入り、その巨大なボリュームで、高齢化し、将来の社会保障費増大として日本経済の足を引っ張り、次の世代の足枷となりつつある。(コロナの更なる人員整理で、癌化は加速していく)

-氷河期世代は子育て世代でもあり、この世代の沈降は、次世代の教育水準の低下、将来の日本の更なる国際競争力の低下、更なる少子化を招く。

→日本の完全な没落

-この問題の改善は、**SDGS** 活動の取り組みである。

等々

目的

- 氷河期世代の協力システム構築による自助努力による安定化。
- 子供世代を含む次世代の将来の日本の安定化
- 日本の将来の世代に禍根を残さない様、日本経済沈降の連鎖の負のスパイラルを、氷河期世代が、自分達力で止める。
- それは、不景気等の外的要因を和らげる自己防衛システムの構築ともなる。

方策

-氷河期世代の力を結集（コロナ下、最早それを止められるのは、同じ氷河期世代のみ）。効果的に力を集め、発揮することが可能なシステムを作る。

→それが、**世代内経済循環システムの構築＝チーム氷河期プロジェクト**

現役世代で、最も大きなボリューム（約 2300～2600 万人とも）である氷河期世代の中で、ヒト・モノ・サービス・カネの大きな世代内経済循環を形成することによって、最もボリュームの大きい氷河期世代から経済を活性化することによって、日本国内の内需と生産の拡大、日本経済の活発化に繋げていく。

その氷河期世代の人口は、東京の人口（1396万人）の1.5～2倍近い人口ボリュームがあり、その氷河期世代内で、世代内経済循環システムを構成、活性化することによる日本経済への影響は、非常に大きいものがあり、氷河期世代のマイナスの影響をプラスに変えることによるその影響は、膨大。

あの就職氷河期は、地震や台風の様な天災の様なもの。だから、助け合う。

概要（イメージ）

一層目（B2B）

まずは、主に氷河期世代の経営者を中心とした、企業、団体等のネットワークを広げ、太くし、このチーム氷河期の企業等間B2Bで、モノ・サービス・カネの流れの経済循環を、太く、密に、広く活発化させる。

二層目（B2C）

活性化、UPした売り上げ、利益により、氷河期世代の仕事の供給、或いは雇用も活性化させていく。

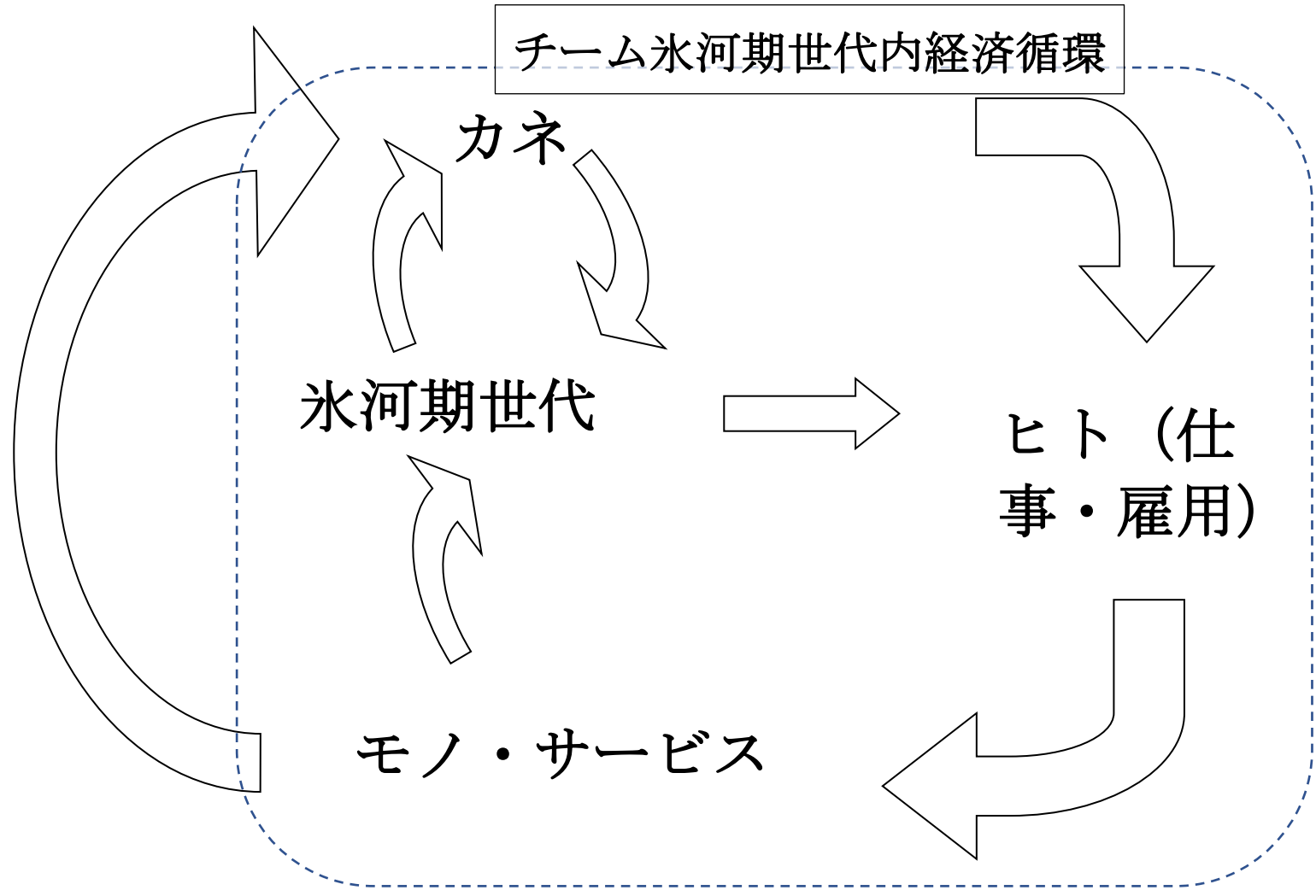
絶対数の大きい氷河期世代賛同者の互いの応援による購買を活性化させる。

→（チーム氷河期個人会員等も募っていく）

氷河期世代の消費者を巻き込んだチーム氷河期の経済活性化と売り上げ増により、更に氷河期世代の雇用を活性化させていく。

All 氷河期世代による、ヒト・モノ（サービス）・カネの巨大な経済循環を形成する。

チーム氷河期経済循環モデル



第一層 (B2B)

-製品やサービスを取り入れる時に、互いに、できるだけチーム氷河期の会員企業、団体（個人事業主を含む）を比較的優先的に採用する、或いは、応援的に製品、サービスを採用する。それにより、互いの売上増の貢献をしていく。

-機会があるごとに、互いの製品やサービスを営業する。

（→営業人員不足のカバー。全国に営業マンを配置できる仕組み）

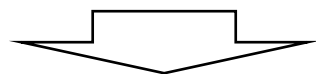
-互いの製品やサービスの良さを定期的なプレゼン大会や、集会を、ズーム等のオンラインも使って実施し、互いの商品、サービスを知る機会を作る。

-チーム氷河期®という言葉ホームページや製品販売ページに埋め込み、氷河期世代の経営者等の企業などの製品を応援購入を考えている、特に氷河期世代の方々、企業が、検索、見つけ易くすることによって、商品、サービスの購買をし易くする。

等々

第二層 (B2C)

- 氷河期世代個人（チーム氷河期個人会員）等と、B2C も合わせた経済循環システム。
- 主に氷河期世代個人（チーム氷河期個人会員）に、チーム氷河期企業会員の商品、サービスの比較的優先的な購入によって、氷河期世代が経営している企業、団体の売り上げUPに寄与。



それによって上がった売り上げによって、氷河期世代の雇用創出。
その雇用によって得られた収入から、チーム氷河期の企業会員の商品、サービスの優先的購入。

それによって生まれた売り上げ増によって、また、チーム氷河期の個人会員の雇用創出に繋げるという経済循環を創出。



氷河期世代内で、互いに元気になること、不景気等の外的要因による影響を緩和するシステム構築

期待される効果

氷河期世代の経営する企業、団体（新規事業も含む）の活性化。（企業、団体、個人事業主、個人）

氷河期世代安定化。雇用維持等。→人の命にも関わる

→将来の社会保障費の削減。次世代への負担軽減。

氷河期世代の埋もれた能力の活用。

→経済の活性化。税収増。経済の不活性化抑止。



日本経済再生への足枷（マイナスの財産）をプラスの財産に変える効果は大。日本経済の足枷を外し、活性化への足掛かりとする。

氷河期世代も幸せとなり、周りも巻き込んで、皆も幸せになる。

氷河期世代は、子育て世代でもあり、この経済力の安定が、次の世代のより良い教育にも繋がる。→将来の国際競争力 UP & 日本経済の活性化

新たな大きな経済循環の流れを作ることによって、経済の活性化を支える

地域経済への貢献

地域経済圏内において、ボリュームの大きい氷河期世代内経済循環システムを活性化することによって、地域経済活性化の推進力となる可能性がある。

また、氷河期世代内経済循環システムは、より地域を超えたボーダーレスな経済循環システムであるので、地域外からのお金や人の流れも活発化し、地域経済の活性化にも繋がる活用が可能。

日本経済のキャスティングボードを握っているのは、巨大な人口である氷河期世代氷河期世代の一人一人がどう ACT するか、どう、力を合わせることができるかが、日本の将来を決めるといっても過言ではない。

チーム氷河期プロジェクトとは

元々日本には、近隣住民と助け合いの文化があった。

厳しい時代を共に生き抜いてきた戦友ともいえる、氷河期世代の強い結束力を備えた、チーム氷河期の世代内経済循環の大きな輪を作る。

一般的に、**経済圏**とは主に地理的なカテゴリーによる分類の、経済循環圏を指し、**地域経済圏**単位で、経済を活発化させようとする試みが一般的なものである。

本プロジェクトは、世代で分類される世代内での経済循環圏（**世代内経済圏**）を活発化させる、世界初の壮大な試み、社会実験である。

これは、最もボリュームが大きく、苦難を乗り越えてきた戦友ともいえる一体感を持った氷河期世代が、成熟した年齢となった今だからこそ、また、IT、インターネットの普及した今だからこそ実現の可能性の高い試みである。（これまで過大な世代内競争をしてきた（させられてきた）同一世代内競争を、同一世代内協力とする。）

また、今やらなければ、手遅れにもなる試みでもある。

これは、脆弱さの強い氷河期世代を元気にする為に、氷河期世代でより大きく太い**TEAM**を組み、氷河期世代が一体感をもって、取り組む世代内経済循環システムの構築で、1人でも多くの氷河期世代の方々の参加によって成功の是非が決まる、ちょっとした経済革命となりうる壮大な試み、世界初の社会実験でもある。是非、実験への参加を！

今後

現在、世代内経済循環システムの構築に向けて、様々な仕掛け、プロジェクトを検討しております。

まずは、このプロジェクトのビジョンに御賛同、御協力頂ける方、御意見等を、メール等で御連絡お願い致します。

より多くの方々の御支持、御協力によってのみ実現可能なプロジェクトです。

Made by Hyougaki.Sold by Hyougaki.Served by Hyougaki.

Bought by Hyougaki.Hired by Hyougaki.And cheered by Hyougaki.

要は、氷河期世代の団結力で皆が幸せになり、経済の活性化、より良い子達の未来を目指しましょう！ということです。

SDGsの取り組みの1つでもあります。是非御参加下さい！

氷河期世代がどこからどこまでか、明確な定義はありませんが、ここでは浪人を加味し、1968年から1982生まれとしています。（※日本総研～「就職氷河期世代の

求められる対応の方向性」等から浪人も加味し、1968年から1982生まれ）